

## イエスは貧しい人々を捜し出す

イエスは何をしようとしていたのか。イスラエルの状況の中でイエスは何をしようとしていたのか。ヨハネの3の22にイエスは洗礼を受けたと書いてある：イエスは弟子たちとユダヤ地方に行って、そこに一緒に滞在し、洗礼を受けておられた。

つまり、ヨハネと同じような活動をやっていた。しかしそれは長く続かなかったようです：イエスがヨハネよりも多くの弟子をつくり、洗礼を受けておられるということが、ファリサイ派の人々の耳に入った。イエスはそれを知ると、——洗礼を受けていたのは、イエス御自身ではなく、弟子たちである——ユダヤを去り、再びガリラヤへ行かれた。ヨハネ4：1—3

そしてイエスは次に何をしたとかと言うとルカの4章の16から21に書いてあるのは

イエスはお育ちになったナザレに来て、いつものとおり安息日に会堂に入り、聖書を朗読しようとしてお立ちになった。預言者イザヤの巻物が渡され、お開きになると、次のように書いてある個所が目にとまった。

「主の霊がわたしの上におられる。

貧しい人に福音を告げ知らせるために、

主がわたしに油を注がれたからである。

主がわたしを遣わされたのは、

捕らわれている人に解放を、

目の見えない人に視力の回復を告げ、

圧迫されている人を自由にし、

主の恵みの年を告げるためである。」

イエスは巻物を巻き、係の者に返して席に座られた。会堂にいるすべての人の目がイエスに注がれていた。そこでイエスは、「この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」と話し始められた。

これがイエスのご自分の独特の活動のきっかけ、出発点だったのだ。主の恵みの年はどういう事かというところは旧約聖書のレビ記の 25 章に書いてあるものを読めば解ると思う。弱い人々、貧しい人々、苦しんでいる人々を助けるための規則だったのだ。

ルカの 4 の 16 から 19 にイエスは自分の計画を発表、宣言したのだ。

ルカの 4 章の 18 にイエスは「主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるために」と書いてある。

これは非常に重要な箇所です。神様の考え方、神様のお望み、神様のご計画、イエスの考え方、計画、キリスト教の意味、目的が解るために聖書の中で一番重要な箇所かもしれない。「主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるために」。それに似ているがルカの 6 章の 20 節にイエスはこうおっしゃる。「貧しい人々は、幸いである、神の国はあなたがたのものである。」

神の国とは神様が世界の大統領、総理大臣、全世界の支配者だとしたら世界はどうなっているか？勿論、皆平等で差別は無し、貧富の差は無し、抑圧や搾取は無い。これが神様が望んでいるような世界で、イエスが作ろうと思っていた世界、話していた、教えていた、神の国の事だ。

これは翻訳によって異なるようだが、この共同訳によると弟子達は貧しかったようだ。ムーアー（聖書学者）とクロッサン（聖書学者）のイエスの時代の状況の説明によるとイエスの弟子達の多くは貧しかったので驚く事ではないだろう。

またマリアの讃歌にもマリアは同じような事をおっしゃった。

「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。身分の低い、この主のはしためにも目を留めてくださったからです。今から後、いつの世の人もわたしを幸いな者と言うでしょう。

力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。

その御名は尊く、その憐れみは代々に限りなく、主を畏れる者に及びます。

主はその腕で力を振るい、思い上がる者を打ち散らし、

権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ、  
飢えた人を良い物で満たし、富める者を空腹のまま追い返されます。

その僕イスラエルを受け入れて、憐れみをお忘れになりません、  
わたしたちの先祖におっしゃったとおり、アブラハムとその子孫に対してとこし  
えに。」ルカ 1: 46—55

それでイエスはこの考え方をマリア様から教わったという考えが学者の中にもあ  
る。これは驚くべき考だ。「貧しいあなた方は幸いである。神の国はあなた方  
のものである。」「貧しい人々は幸いである。」これは本当に驚くべき言葉だ。  
これを読んでも聞いても驚かないならばあなたはこの言葉の意味を理解していな  
いということだ。私は現在の日本のホームレスの人々は幸いである、神の国は彼  
等のものだと言ったならばあなたはどう思うだろうか？びっくりするだろう。こ  
ういうことだ。

しかし貧しい人々はなぜ幸いなのか？これは面白い話。まずこの世界も日本も社  
会は競争社会で、そして縦社会となっている。勝ち犬と負け犬か。勿論貧しい  
人々は負け犬で社会の下にいる。被害者だ。特にホームレスの人々は仕事が無い  
ため、仕事をしたくても出来ない場合が多くて社会には参加していない。縦社会、  
競争社会にも参加していない。それで競争社会が作る問題には責任は持って  
いない。責任を持っているのは勝ち犬の上の人達だ。責任を持っていない事は幸  
いな事だ。その罪を犯していないから。また、私達はこのシステムに参加してい  
るため、巻き込まれているため、一生懸命競争しているため、はしごに上ろうと  
しているため、社会の構造、社会のいろんな問題が見えないのだ。貧しい人々は  
参加していない、システム社会の外に居る、その為ある程度私達より、ある程度  
社会が良く見えると思う。この世界、社会は世界の貧困の問題をおこしている。  
また環境問題もおこしている。悪いシステムだ。気づいていないだろうが悪いシ  
ステムだ。数少ない人々が豊かに暮らすために多くの被害者、環境破壊も起こし  
ている。

イエスは貧しい人々、社会の被害者を探し出して彼等に福音を知らせることに決  
めた。これはイエスのもう一つの大きな決断だった。

エクササイズ

次回のセッションの準備として

「キリスト教以前のイエス」 第四章 いやし  
第五勝 ゆるし